

# いま!この一冊!

## 『ぼくの心は炎に焼かれる』



植民地のふたりの少年♫

作/ ビンガリー・ノベック

訳/ 野沢佳織

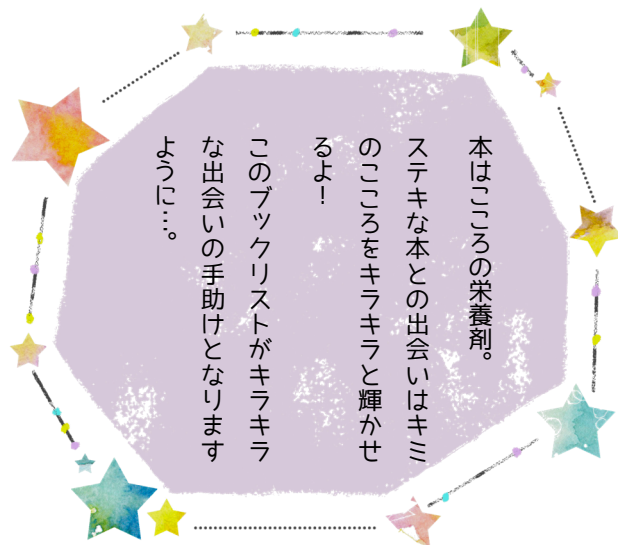
徳間書店

Y933/ナ/

1950年代のアフリカはケニア。11歳の白人少年マシューは、ある日、家のまわりの柵が2倍の高さになっていることに驚く。しかしこれは、白人移住者から土地を奪い返そうとするケニアのキクユ族の武装集団〈マウマウ〉から身を守るためであった。

マシューと兄弟のように育った13歳の黒人少年ムゴは、マシューの家の台所で下働きをしている。そんなムゴの家族の元にもくマウマウは訪れ、黒人たちを支配下におさめようとしていくが…。

アフリカの歴史について知ることのできる物語です。マシューとムゴ、人種のちがうふたりそれぞれの視点で物語が進んでいきます。世界的に紛争や戦争が起こっているいま、争いや平和について考えさせられる本です。



## 図書館おすすめブックリスト



キラ

キミのこころに☆めきを…

中学生



## 『八秒で跳べ』

著/坪田侑也

文藝春秋

Y913/ツ/

6月のインターハイ予選で初めて県の準決勝まで進んだ 明鹿高校バレーボール部に所属する2年生の宮下景。夏に敗れた全国大会常連の強豪校である稲村東 との一戦を前に足を痛めてしまい、欠場することに。しかし、怪我の原因をつくった同学年のマンガ家をめざしている真島綾のことが気になりはじめ…。

オリンピックでにぎわいそうなこの夏、バレーボールでつむぐ青春物語を先取りしてみるのもいいかも？

2024年夏号

編集・発行：五反田図書館

## 『射手座の香る夏』

Y913/2/

著/松樹 凛 りん 東京創元社



夏を舞台とする4編の物語がひとつになったSFファンタジー。動物に意識を転送するズーシフト動物乗りたちの物語が「射手座の香る夏」、15歳になると出生のキャンセルく巻き戻しをするかどうかを選ぶことができる「十五までは神のうち」など、独特の世界観に引き込まれます。眠れない夏の夜、想像をめぐらせてみるのはいかが？

## 『いつか君に出会ってほしい本』

さつ

何度でも読み返したい158冊』

著/田村 文 あや 河出書房新社 Y019/9/



「世界」「私らしさ」など、7つの大きなテーマに沿って、何度でも読み返したい158冊の本を紹介。著者は、共同通信社で文芸を担当されていた方で、ティーンズ世代の方々への読書案内として発信された記事が元になっているのだから。どの本を読んだらいいのかわからない…という方におすすめ。

## 『あしたをみがけ 姫川中学校みがき部』

横沢彰/作 佐藤真紀子/絵 新日本出版社

Y913/3/



クラスになじめない中1の塔可理。海辺で同じ中学校の林先輩と知り合う。先輩は、石を研磨機とやすりで削るみがき部員だった。塔可理は、海で拾った石ころが驚くほどきれいに輝くようになるみがき部に興味を持ち、入部を決意するが…。実在する部をモデルにした青春ストーリー。

## 『友だちがしんどいなくなる本』

Y361/1/

著/石田光規 みつり 講談社



いま、友だちのあり方が変わりつつあります。だからこそ、友だちといえると楽しいのに、なんだかしんどくなってしまうのかもしれない。友だち付き合いをうまくやる方法が知りたいという方、こちらの本を読んだら解決するかもしれません。友だちの「かたち」、人間関係のあり方、オンラインでのつきあい方など、リアルなテーマに答えてくれますよ。

## 『カラフル』

Y913/7/

著/阿部暁子 あきこ 集英社



高校の入学式の朝、荒谷伊澄は駅でひたたくり犯を捕まえる。そのとき、いっしょにつかまえたのが、車いすユーザーの渡辺りっか。六花だった。ふたりは偶然にも同じ高校の新入生。病気で車いすユーザーとなったりっか。けがで陸上選手の夢をあきらめた伊澄、たがいに少しずつ近づいてい

## 『17シーズン 巡るふたりの五七五』

Y913/E/

著/百舌涼一 めぐ 講談社



学校でだれともしやべらずいつもひとりの中学2年生の松尾音々。ひよんなことからクラスで人気ナンバーワンの優等生、天神至から句会に誘われる。五七五の17音の世界で距離を縮めるふたり。小学生のころ吃音で悩んでいた音々、だれにも明かすことのない問題をかかえる至が向かう先にはどんな未来が待っているのでしょうか。

## 『電子仕掛けのラビリンス』

Y913/1/

著/石川宏千花 ひろちか 理論社



中高生に人気のSNSアプリ、HOOP。中学3年生の夏子は、SNSに無関心だったが、親友のユキナはこの無料アプリに登録し、次第にはまっていく。ユキナは、HOOPを通じて知り合ったある写真サイトの管理人と朝までHOOPをしているため、学校も休みがちになってしまった。そんな親友を救うため、夏子はHOOPに登録していくが…。

## 『セントエルモの光 久閑野高校天文部の、春と夏』

Y913/7/

著/天川栄人 てんかわ 講談社



高校1年生の安齋えるもは、3年ぶりにこの春から地元の田舎の高校に通っている。SNSで地元のクラスメイトとつながっていないと不安で、とくにやりたいこともなかったえるもは、星空の美しさに引かれ、廃部寸前の天文部に入ることに。唯一の部員兼部長は、学校で変人と呼ばれている、橋本嵐士先輩。えるもは部の存続のために燃えていき…。

## 『学校に行かない僕の学校』

Y913/4/

作/尾崎 英子 ぼく ポプラ社



学校に行けなくなってしまった中学2年生の氷川薫。寮つきのフリースクールへ行くことに。自然に囲まれたそのスクールには、小学生から中学生までさまざまな子どもがいて、時間割はなく、なんでも自由でできる。薫は、そんな自由なスクールでのんびりと過ごしながら、自分の心に向かい合い…。